

中学校第1学年
外国語



クラウドで英語の発表のモデルを共有。生徒が自分の発表を撮影し、モデルと比較することで、内容、表現、話し方を改善。

中学校第1学年 外国語 「Welcome to ATAGO JHS!」

■単元の目標

小学校6年生が安心して中学校に入学することができるように、「1日体験入学」の場で「愛宕中学校の魅力」について、伝える内容や構成、表現などを整理することを通して、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

■単元の概要

小学校6年生が中学校生活について知りたいことなどを把握し、伝えたい学校紹介の内容や構成、表現などについて考え、整理し、繰り返し練習する活動を行う。

■単元の指導計画（6時間）

第1時

「単元の見通しをもつ」

- ・小学生に「愛宕中学校の魅力」を英語で発表するという単元のゴールを理解し、学習の進め方について見通しをもつ。
- ・JTEとALTが提示するモデルの内容や構成、表現などを確認する。

第2～4時

「小学生とのオンライン交流」

- ・小学生とやり取りをし、小学生の知りたい中学校生活の情報や興味・関心などを把握する。
- ・交流を生かして紹介したい内容や構成、表現などを考え、整理する。

「伝えたい内容と表現の再構築」

- ・友達とやり取りをして内容を深める。
- ・自身の発表をグループの仲間に聞いてもらったり、録画したりすることを通して、内容と表現を再構築する。

第5～6時

「Welcome to ATAGO JHS!」（1日体験入学）

■単位時間の概要

JTEとALT、2年生によるモデルを見ることで、単元目標とゴールイメージ、学習の進め方について見通しをもつ。提示されたモデルの内容や構成の工夫、表現などを確認する。

※クラウド上で、いつでも単元目標や学習の進め方等を確認することができる。

小学生と英語でオンライン交流をし、小学生の知りたい中学校生活の情報や興味・関心などを把握する。交流したことを基に、紹介したい内容をアイディア・マップにまとめクラウドで共有する。共有された友達の考えを参考にしながら、伝えたい内容を深めていく。

友達と何度も英語でやり取りしながら、伝えたい内容を深めていく。ある程度、発表したい内容がまとまったところで、グループの仲間に聞いてもらったり、自分で録画したりする。「小学校6年生が安心して中学に入学することができるような学校紹介になっているか」という視点で、友達やALTからアドバイスをもらったり、自身の発表内容や表現を確認したりして、再構築していく。

■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している生徒の姿（第4時）

【学習活動の場面】

小学生の知りたい情報や興味・関心などを踏まえて紹介したい内容や構成、表現を考えてきた生徒は、「中学校生活に不安や期待を抱いている小学生が安心して入学できるように、分かりやすく伝えることが大切だ」との考えをもった。そこで教師は「自分の考えや気持ちを分かりやすく伝えるために、相手意識を明確にしたシミュレーション（練習）を行い、発表に生かそう」と投げかけた。

【生徒の「深い学び」の姿】

Aは、次のような目標を立てた。

「愛宕中の先生方について、小学生とやり取りをしながら紹介することはできると思う。自分では『このくらいの英語で伝わるだろう』と思っているけれど、本当に伝わるのかが不安。いろんな友達と何回も練習したいし、発表内容や構成について意見を聞きたい。小学生が懂れてくれるような発表にしたい。」

Aは、クラウドで共有されているモデルと、前時までに撮影した自身の動画を比較し、発表内容を確認、修正、練習した。

▶確認の視点： 小学生が聞きたいことについて、分かりやすく説明しているか（内容面）
相手に伝わる英語で表現できているか（言語面）

その後、Aは、学習グループの友達に複数回聞いてもらい、コメントをもらった。

Aは、改善点を整理し、再度練習に取り組み、ALTに発表した。

授業が終わった後、自分の発表を動画に残した。

「伝える順序を意識して発表することの良さに気付き、実際にやってみることができた。さらに分かりやすく伝えるためには、例を挙げるとよいと学んだ。何度も練習していきたい。」

【当該指導での「深い学び」】

Aは、小学生が安心して中学校に入学できるように分かりやすい発表にしようとする中で、クラウドで共有されているモデルと、自身の発表とを比較することで発表内容を確認、修正、練習をした。その後、友達にも何度も聞いてもらい、コメントをもらうことで、よくなったことやさらに改善するとよいところを明らかにし、発表内容をよりよいものにしていけることができた。



■指導上の工夫とICTの利活用

①生徒が、いつでも単元目標や学習の進め方、モデルを確認することができるようにする。

* クラウド上に目標やモデル等を共有することで、生徒は本単元で目指す姿をいつでも確認することができる。また、困った時はいつでも参考にすることができる。

②生徒が、発表内容を再構築できるように、クラウドで共有したモデルと、自身の発表とを比較する場を設ける。

* 内容面と言語面における確認の視点をもたせ既習事項と関連付けて指導することで、本単元で目指す姿に近付けることができる。

③学習の過程や成長を振り返ることができるように、毎時間の学びの記録を動画に残すようにする。

* 記録に残していくことで、生徒自身も自身の学びを振り返ることができる。

【活用したソフトや機能】 MetaMoJi classroom（アイデア・マップなどの共有、動画撮影）

学習指導要領や解説との関連

中学校学習指導要領 第2章 第9節 外国語

第2の1の(4)

(4) 話すこと〔発表〕

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

第2の2の(2)

ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉えること。

イ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。

ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。